

事前申込なし・参加費無料

同志社大学経済学部公開シンポジウム

— 経験価値創造におけるイノベーションとは —

# 感動の 価値創造

経済における価値創造は、財からサービス、そして経験の生産にシフトしており、コンテンツ産業の価値は「感動を得る」という経験価値そのものである。本シンポジウムでは、スポーツやゲーム産業に焦点をあて、経験経済における価値創造を考える。

日時 **2010年12月8日(水) 15:00-19:00**

会場 **同志社大学  
寒梅館「ハーディーホール」  
(14:30開場 15:00開始)**

定員

**800名**  
(先着順)

**宮本 恒靖 氏**

(プロサッカー選手・ヴィッセル神戸所属)  
第1部出演急遽決定

敬称略 順不同

## 第1部 「スポーツコンテンツにおけるイノベーション」

朝原 宣治 (大阪ガス株式会社・元陸上選手)

奥野 史子 (スポーツコメンテーター)

藤口 光紀 (スポーツコーディネーター・前浦和レッズ社長)

伊多波 良雄 (同志社大学経済学部教授)

コーディネーター: 横山 勝彦 (同志社大学スポーツ健康科学部教授)

## 第2部 「コンテンツ産業におけるイノベーション」

齋藤 茂 (株式会社トーセ 代表取締役社長兼CEO)

山本 壮太 (プロデューサー・元NHK京都局長)

細井 浩一 (立命館大学映像学部教授)

コーディネーター: 河島 伸子 (同志社大学経済学部教授)

主催 **同志社大学経済学部・同志社大学経済学会**

共催 **同志社大学ライフリスク研究センター**

お問い合わせ先

同志社大学経済学部シンポジウム事務局(ライフリスク研究センター内)  
TEL:075-251-3728 Fax:075-251-3727 email:rc-risk@mail.doshisha.ac.jp

## 第1部 「スポーツコンテンツにおけるイノベーション」

15:00-16:40 パネルディスカッション

パネリスト 朝原 宣治(あさはらの ぬはる)



神戸市出身。アトランタオリンピック('96)初出場で、100m準決勝に日本人として28年ぶりに進出。2008年に自身4度目となる北京オリンピックに出場し、4×100mリレーで悲願の銅メダル獲得。同年9月競技生活引退(36才)。2010年、スポーツを通じた子供達の健全な成長と次世代を担うトップアスリートの育成を目指し、陸上競技クラブ「NOBY TRACK & FIELD CLUB」を設立する。

パネリスト 奥野 史子(おくの ふみこ)



京都市生まれ。1992年バルセロナ五輪にシンクロナイズドスイミング日本代表として出場。ソロ・デュエットで銅メダルを獲得。現役引退後は、スポーツコメンテーターとして、テレビラジオなど多方面で活動。2000年から2002年には、エンターテインメント集団シルク・ドゥ・ソレイユに所属し、ラスベガスで最高峰のショー「O」(オー)に出演を果たす。2002年、元陸上短距離の朝原宣治氏と結婚。2児の母。

パネリスト 藤口 光紀(ふじぐち みつり)



群馬県生まれ。中学・高校と新島学園で学び、高校からサッカーを始める。慶應義塾大学在学中に日本代表に選出され、卒業後は三菱重工サッカー部の一員として日本サッカーリーグで活躍。現役引退後は、浦和レッズのクラブ運営・経営に携わり、日本サッカー協会・Jリーグの理事としても日本サッカーの発展に寄与。現在はスポーツコーディネーターとして「スポーツで街づくり・人づくり」をテーマに活動中。

パネリスト 伊多波 良雄(いたば よしお)



同志社大学大学院経済学研究科修了。現在、同志社大学経済学部教授。主要著書としては、「地方分権時代における地方財政」(有斐閣、2002年)、共著「現代社会の財政学」(見洋書房、2009年)、編著「公共政策のための政策評価手法」(中央経済社、2009年)などがある。最近では、ソーシャル・キャピタルと祭りやスポーツなどの関係について研究。

コーディネーター 横山 勝彦(よこやま かつひこ)



同志社大学経済学部卒業。京都教育大学教育専攻科保健体育専攻修了。同志社大学法学部教授を経て、同大学スポーツ健康科学部教授。スポーツ文化論、スポーツ政策論が専門。著書に「スポーツと京都のまちづくり」、編著に「スポーツの法と政策」(ミネルヴァ書房)、「暗黙知を伝える教育—スポーツにおけるライフスキル」(昭和堂)など多数。

## 第2部 「コンテンツ産業におけるイノベーション」

17:00-18:00 基調講演「ゲーム産業の歴史とイノベーションの方向」 講師: 齋藤 茂(株式会社トーセ 代表取締役社長兼CEO)

18:00-19:00 パネルディスカッション「コンテンツ産業のイノベーション」

基調講演者 パネリスト  
齋藤 茂(さいとう しげる)



株式会社トーセ 代表取締役社長兼CEO。立命館大学理工学部卒。1979年父が経営する東亜セイコーに入社。同年ゲーム部門を分離独立させトーセを設立。同社の開発本部長に就任し、実質的な指揮を執る。85年取締役を経て、87年社長。02年京都大学大学院経済学研究科非常勤講師。現在、京都経済同友会常任理事、京都伝統芸振興財団理事、京都商工会議所常議員など役職多数。

パネリスト 山本 壮太(やまもと そうた)



1944年愛媛県生まれ。京都大学文学部哲学科卒。NHK入局。主にドラマ番組のディレクター、プロデューサーを務める。担当作品に大河ドラマ「獅子の時代」「山河燃ゆ」、「夢千代日記」「事件」、「あめりか物語」「大地の子」等多数。放送総局衛星放送第2部長、衛星放送局長などを経て、99年京都放送局長。のちNHK文化センター常務取締役大阪総支社長。11月1日を古典文学に親しむ「古典の日」とする「古典の日推進委員会」ゼネラルプロデューサーなど、活動は多彩である。

パネリスト 細井 浩一(ほそい こういち)



立命館大学映像学部教授。専門は、経営学、コンテンツ産業論。博士(経営学)。ICTとコンテンツを活用した地域振興プログラムなど、産学公連携型の研究と実践を数多く推進。現在、日本デジタルゲーム学会会長代行、サイエンス映像学会理事。デジタルアーカイブ「石川新情報書府」監修委員長、ゲームアーカイブプロジェクト代表。主な著書に「コーポレート・パワーの理論と実際」(同文館出版)、Gaming Simulations and Society (Springer) など。  
<http://www.hosoik.net/>

コーディネーター 河島 伸子(かわしま のぶこ)



同志社大学経済学部教授。電通総研研究員、英国ウォーリック大学文化政策研究センターリサーチフェローを経て、1999年より同志社大学経済学部にて、文化経済、文化政策論、コンテンツ産業論を教える。PhD(文化政策学、ウォーリック大学)。2004~05年度にはロンドン・スクール・オブ・エコノミクス、カリフォルニア大学ロサンゼルス校にて客員教授を務めた。著書に「コンテンツ産業論」(ミネルヴァ書房)、共著に「グローバル化する文化政策」(勁草書房)「文化政策学」(有斐閣)「アーツ・マネジメント」(放送大学教育振興会)など。

会場のご案内

### 同志社大学寒梅館「ハーディーホール」

〒602-8580 京都市上京区今出川通り烏丸上ル  
<http://www.doshisha.ac.jp/information/facility/kanbai/>

- 地下鉄「今出川」駅から徒歩1分(最寄り)は②番出口
- 京阪「出町柳」駅から徒歩15分

